



2020年8月7日

各位

会社名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 上田 怜史  
(コード番号 6573 マザーズ)  
問合せ先 取締役副社長 石動 力  
(TEL 03-6435-7130 (代表))

## VH Education Services Private Limited の強制転換条項付転換社債の取得 及び業務提携に関するお知らせ

当社は、この度インドにおいて IT エンジニア向けコミュニティを運営する「Skillenza (スキルレンザ)」を提供する VH Education Services Private Limited (以下 VHES 社) が発行する強制転換条項付転換社債の取得及び VHES 社との間でインドにおける IT エンジニア採用市場に向けたパーソナライズド動画のサービス開発・提供に関する業務提携を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 強制転換条項付転換社債の取得及び業務提携の理由及び内容等

当社子会社であるクリエ・ジャパンは、保有するデータを元に 1 人ひとりに最適な動画を自動で合成・生成する特許テクノロジー「PRISM (プリズム)」を活用したマーケティング支援を推進しております。その中でも多くの会員基盤や活動データを有するサービスと連携し、PRISM を活用した独自サービス、商品の開発・提供による収益化の取り組みを戦略事業領域と定め経営資源を投資しております。

VHES 社はインドにおけるエンジニアコミュニティ IT エンジニアのスキル評価を行い、求職者と企業を繋ぐ、インドで設立された HR テック企業です。現在 70 万人超の IT エンジニアが「Skillenza」に登録しています。

「Skillenza」を利用する求人企業及び、登録する IT エンジニアに対して、個別最適化された PRISM 動画の共同開発メニューを提供・販売することで、インドのエンジニア採用市場における体験の向上とマッチング成果の向上を実現します。

- ①職務内容を記載した募集要項 (job description: JD) の動画化と人材マッチング
- ②職務経歴書や履歴書の動画生成 (ビデオレジュメ)
- ③エンジニアのスキル状況に最適化した研修プログラムの動画生成・提供

VHES 社との関係強化は PRISM テクノロジーの海外展開を行うためにも有益であり、今後益々需要が増すインドの IT エンジニア採用領域において、「Skillenza」を通じた取り組みは重要であると判断したため、VHES 社が発行する強制転換条項付転換社債の取得及び VHES 社との業務提携を推進

することを決定いたしました。

## 2. 強制転換条項付社債及び業務提携の相手先の概要

(1)名称	VH Education Services Private Limited	
(2)所在地	No 49/8, 3rd Floor, Near Jyoti Nivas College, 60ft road, Koramangala, 5th Block Bangalore KA 560095	
(3)代表者の役職・氏名	CEO Subhendu Panigrahi	
(4)事業内容	求職者と企業を繋ぐ IT 人材採用プラットフォームの運営	
(5)資本金	465,565 インドルピー(約 65 万円) (2020 年 8 月 4 日現在)	
(6)設立年月日	2012 年 3 月 13 日	
(7)大株主及び持株比率	Rajesh Rai 11.56% Subhendu Panigrahi 11.55% Prashant Koirala 11.55%	
(8)上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社と当該会社の間には、記載すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社の間には、記載すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社の間には、記載すべき取引関係はありません。
(9)当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態	相手先の意向により非開示とさせていただきます。	

※1 インドルピー=1.4 円 (2020 年 8 月 6 日時点の為替相場) にて換算しております。

## 3. 強制転換条項付転換社債の概要

(1)発行会社	VH Education Services Private Limited
(2)社債の種類	強制転換条項付転換社債
(3)発行金額	200,000 米ドル (※約 21,000 千円)

※1 米ドル=105 円 (2020 年 8 月 6 日時点の為替相場) にて換算しております。

## 4. 日程

(1)取締役会決議日	2020 年 8 月 7 日
(2)契約締結日	2020 年 8 月 7 日
(3)取得日	2020 年 8 月 14 日 (予定)

## 5. 今後の見通し

現時点では、本強制転換条項付社債の取得及び業務提携の締結が当社グループの2020年12月期の連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、当社グループとしては、PRISM（パーソナライズド動画合成・生成エンジン）のテクノロジーを海外のサービスに導入推進をするための足掛かりとなることを期待しております。今後、本強制転換条項付社債の取得及び業務提携に関して、開示すべき事象・事項が発生又は決定した場合、速やかに開示いたします。

以上

（ご参考）当期業績予想（2020年2月7日公表）及び前期実績

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
当期業績予想 (2020年12月期)	1,079	△23	△26	△28
前期実績 (2019年12月期)	847	△138	△144	△192